

様式4

会議録

会議名 (審議会等名)	令和5年度第1回愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会		
事務局 (担当課)	総務部 企画政策課 内線(3233)		
開催日時	令和5年10月31日(火) 午後1時30分~午後3時30分		
開催場所	愛川町役場4階402・403会議室		
出 席 者	委員	12人 (別紙のとおり)	
	その他	0人	
	事務局	6人 (町長、総務部長、企画政策課長ほか3人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開	傍聴者数	0人
非公開・一部公開の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 委嘱状交付 3 町長あいさつ 4 愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会規則について 5 委員長及び副委員長の選出について 6 愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和6年度~令和9年度)の諮問について 7 委員長あいさつ 8 議題 <ul style="list-style-type: none"> (1) 愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和6年度~令和9年度)の策定について (2) その他 9 閉会		

審議経過

(1 / 4)

※審議の要旨は次のとおり（○は委員の発言、●は事務局の発言）

次第1 開会

次第2 委嘱状交付

次第3 町長あいさつ

次第4 愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会規則について

次第5 委員長及び副委員長の選出について

次第6 愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和6年度～令和9年度）の諮問
について

次第7 委員長あいさつ

次第8 議題（1）愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和6年度～令和9年
度）の策定について

●（資料2から資料5に基づき説明）

○（委員長）第2期総合戦略のKPIの達成状況について、資料4の令和4年度の効
果検証報告書で詳細な説明があったが、第3期総合戦略の素案では、KPIの達成状
況の一覧表しか記載がない。第3期総合戦略に掲げる施策展開にあたっては、第2期
総合戦略の効果検証を踏まえたものとする必要があることから、総括を記載してはどうか。

●現行の第2期総合戦略においても、第1期総合戦略の総括をしているため、同様に
記載することしたい。

○（委員A）第2期総合戦略のKPIについて、個々には「効果が表れている」「順調

審議経過

(2 / 4)

に推移した」などの評価があるが、人口動向に結びついているのか。第2期総合戦略の総括にあたっては、総合的に分析し、なぜ人口減少に歯止めをかけることができなかつたのかを検証する必要があるのでは。

○（委員長）愛川町の特徴として、自然増減は減少しているものの、社会増減が増加していることから、このあたりの要因も含めてまとめていただきたい。

●ご提案いただいたとおり、分析を行ってまいりたい。

○（委員長）情報化の推進にあたっては、情報弱者対策を行っていくことも大切である。現在の素案においては、高齢者に向けたデジタル活用支援の推進は位置付けられているが、高齢者のみならず、幅広い世代に向けて対策を行っていく必要がある。

●多世代にわたる支援を位置付けていくよう、施策展開を見直したい。

○（委員長）デジタルの推進にあたっては、専門的な知識が必要となることから、町や村というよりは、国や県において主導するべきと考える。今回の素案に位置付けられたデジタル関係の取組みについては、メール配信やホームページの活用など、町民生活に直結したものが多一方で、「インバウンドに対するA I の活用促進」など高度な技術を要するものもあるが、こうした取組みについては、国や県と連携していく必要があると思うがいかがか。

●近隣の市町村で構成する「広域行政連絡会」において、観光部会を設置しており、この中でデジタル活用による観光振興の推進を研究しているところである。

○（委員長）デジタル化を含め新しい課題に取り組むには、自治体間連携や国、県から支援を受けながら進める必要がある。デジタル化を推し進めるあまり、町行政運営

審議経過

(3 / 4)

を行う上で最も重要である町民との触れ合いが疎かにならないよう留意する必要がある。

○(委員B)県央地域は他の地域と比べても自治体間連携が進んでいるものを感じる。

DXについても、先日、県と市町村で意見交換会を行ったところである。DXを進め
る上でパッケージを購入する場合などは共同購入した方が低額となるなど、国、県の
ほか、市町村間の連携を進めていくことも効果的である。

○(委員長)仰るとおり、これからは広域連携の時代であるので、こうした部分につ
いても第3期総合戦略に盛り込んでいただきたい。

○(委員C)バス路線の利便性向上や交通不便地域の解消に係る取組みは、どのよう
なことを考えているのか。

●これまで、路線バス事業者に協力を頂きながら、半原と厚木バスセンターを結ぶ急
行バスや、桜台小沢線を経由した新規バス路線の運行を行ってきたところであるほか、
高齢化の進行に伴い、福祉車両を使った買い物支援事業なども行っているところであ
る。今後、フィーダー交通の部分に関しては、福祉輸送や企業、病院の送迎バス等様々
な輸送資源を活用して持続可能な交通体系の整備に向けた計画を策定する予定として
いるため、この中で具体的な取組みについて検討してまいりたい。

○(委員A)地域ビジョンについて、「人口減少社会を克服し持続可能なふるさと愛川
を創る」とあるが、克服は出来ないので、「人口減少社会を見据え持続可能なふるさと
愛川を創る」と人口減少社会を前提としたものとしてはいかがか。

●「人口減少社会を克服」というと一般的には人口を増加させなければならないもの

審議経過

(4 / 4)

と受け止められるかもしれないが、町としては、人口減少社会を受け入れつつも持続可能な社会を目指すということが、「克服」であると認識をしているところであるが、いただいた意見を踏まえ検討してまいりたい。

○（委員長）デジタル化を進めていくにあたり小中学生への情報リテラシー教育を進めていくことも重要であるため、盛り込んでいただきたい。

議題（2）その他

●次回委員会の日程等について説明

次第9 閉会

会長(委員長)
署名欄

岩崎忠

愛川町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会委員名簿

(敬称略)

選出区分	団体名等	氏名	出欠
公募による町民等		梶本 裕幸	欠
		石垣 春美	
学識経験を有する者	白鷗大学 法学部 教授	岩崎 忠	
教育関係者	愛川町教育委員会 教育委員	篠崎 美和	欠
関係団体等の代表者	神奈川県内陸工業団地協同組合 専務理事	荒井 英明	
	愛甲商工会 会長	中村 美好	
	県央愛川農業協同組合 理事	花上 美智子	
	東日本電信電話株式会社 神奈川西支店 県央営業支店長	内田 幸宏	欠
	神奈川中央交通東株式会社 厚木営業所長	井上 誠	
	株式会社横浜銀行 愛川支店 支店長	中村 剛	
	相愛信用組合 理事長	中島 満	
	厚木愛甲地域連合 会計監査	加藤 豊和	
	株式会社タウンニュース社 県央支社 厚木・愛川・清川編集室 係長	木村 雅之	
関係行政機関の職員	町区長会 会長	古座野 茂夫	
	神奈川県 県央地域県政総合センター 企画調整部長	村岡 忠博	

※委員の任期は、令和7年3月31日まで

